

2017 - 18年度 RI テーマ



ロータリー:
変化をもたらす

Rotary International
国際ロータリー会長
イアン H. S. ライズリー



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

変革の時代、創造のとき。
新たな一歩で感動を！

第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB
●創 立：1973年2月23日
●会 長：大松 桂右
●幹 事：高岡 正和
●会報委員長：安田 憲司

今週のプログラム

第2152回例会

- ① 開会 点鐘
- ② ソング 「君が代」「四つのテスト」
- ③ ビジターの紹介
- ④ 会員及び会員夫人誕生月祝
浅井会員、上山会員、桑田会員、谷村会員
中澤会員、浅井夫人、木村夫人、品川夫人
高橋夫人
- ⑤ 会員結婚記念日祝 上田会員、柳会員
- ⑥ 会務報告
「会長の時間」「幹事報告」
- ⑦ 委員会報告
「出席報告」「各委員会」「ニコニコ報告」
- ⑧ 卓話 「私の留学生活」
米山奨学生 黄 勉^{こうべん}氏(世話クラブ:茨木RC)
- ⑨ 閉会 点鐘

*例会前：第13回IMRD実行委員会

★例会後：10月度定例理事会

*10/12(木)

◆四和会(ホスト：八尾東RC)

於：日航ホテル大阪 4階 「藤」

受付：17:30～ 四和会：18:00～20:00

大松会長、大橋副会長、高岡幹事、

山本事務局員 出席予定

来週の予定

第2153回例会 10月13日(金)

*百済 洋一ガバナー補佐&

鈴木 慶一ガバナー補佐エレクト クラブ訪問

☆「ロータリーの友」紹介

谷村 政哉広報・雑誌委員長

☆卓話なし

◎第3回クラブ協議会(14:00～)

*例会前：第14回IMRD実行委員会

前週の例会記録

2017年9月29日(金)

出席報告

例会数	会員数	出席数	出席率	備 考
第2151回	27名	16名	69.6%	出席義務免除 6名(出2)
第2149回	27名	17名	77.2%	補 填 2名

ニコニコ箱

●友田様、笠様、ご訪問ありがとうございます。

笠様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。

大松 桂右会員

●笠様、友田様、ご訪問ありがとうございます。

よろしく。

石川 義一会員

●第3回「ありのまま あるがまま」展開催をお祝い
致します。

品川 芳洋会員

●桑田さん、先日はお世話になりました。

池本 繁喜会員

★例会場：八尾市生涯学習センター<かがやき> 〒581-0833 大阪府八尾市旭ヶ丘5-85-16 TEL:072(924)3876

★例会日時：毎週金曜日13時30分

★事務所：〒581-0803 大阪府八尾市光町2丁目60番 LINOAS(リノアス)8階 TEL:072(997)0626 Fax:072(997)2620

★http://www.yaohigashi.org/ E-mail:yaohigashi@japan.email.ne.jp

●NPO 法人 笠久恵様、本日は卓話にお越し頂きありがとうございます。

八尾RCの友田昭様、御訪問ありがとうございます。

桑田 タア子会員



子どもの居場所づくり事業へ
協力金贈呈

●今回合計 4,000 円

●累計 290,000 円



9月皆出席祝
山田会員

会長の時間

本日は当クラブが協力しています、アールブリュットが開催されます。ぜひ、多くの方のご参加をお願い致します。

これまで当クラブは障がい者を対象とした、様々な奉仕事業に取り組んで参りました。

障がい者の方のご両親とお話をすると、「私たち親が亡くなった後、この子の将来がどのようになるのが大変心配」といったようなことを言われます。

個人や地域社会、行政などがしっかりとした環境を整える必要があると考えます。障がい者を取り巻く環境はめまぐるしく変化をしています。度重なる法や制度の変化にその都度、障がい者本人をはじめ、現場は混乱を招きます。個人や地域社会、行政がそれぞれの立場において出来ること、出来ないことがあり、それぞれが連携、協力をしなければなりません。

そういったことから、当クラブとして引き続き、支援できる内容を見極めながら奉仕事業に取り組んでいくことが必要だと考えますので、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

幹事報告

今回は特にございません。

卓話

「子どもの居場所づくり」

NPO 法人 寺内町久宝寺

久宝寺寺内町まちづくり

推進協議会 広報 ^{かさ} ^{ひさえ} 笠久恵氏



まずは自分のことと家族のこと少しお話ししようと思います。

私は幼少期から久宝寺村に住んでいます。主人と2人の娘がいます。実は娘2人は他のロータリークラブの方々とご縁があり、学校の方でインターアクトの活動をさせていただいております。

ロータリークラブの会員の方々と海外研修にいかせていただいたり、例会に呼んでいただいたり、ボランティア活動をさせていただいたり、なかなか出会えることのない方々と交流させて頂くことができとても勉強になる活動をさせていただいております。

上の娘は19歳で沖縄の大学にて教育の勉強をしています。

下の娘は17歳で高校生です。

とても海外に興味があり先月八尾市が主催するアメリカベルビュー市へ交換留学生として行かせていただきました。

私自身、今活動や興味のあることといたしましては子どもについてや、地域の活動、寺内町まちづくりや、国際交流などさせていただいております。このいろいろな活動のきっかけや原動力となりましたのは、実は以前大きな病気をいたしました。その時助けていただいたことへの感謝と社会に何か恩返しできないかと言う気持ち、あとやはり自分の存在の意味理由が欲しかったのではないかと思います。

それではまず少し、子どもの問題について、私が特に興味を持ったのが貧困問題ネグレクト問題でした。

貧困というと、日本には貧困なんてもう無いのではないかと言う認識であったりするかもしれま

せん。大阪に至っては子ども貧困率が 15.2%もあるそうです、先日の大阪市の調べでは、夕食を食べていない子が 1.4%、朝食を食べていない子が 2.7%、私はこの数字を聞いて本当にびっくり致しました。

私は食いしん坊なのでご飯を食べないという事は考えられません。

それがまして小さな子供が食事をしないとしたらどうでしょう。

親ががちゃんとすれば、親が悪いんだといっても、なかなか親を叱るわけにも教育するわけにもいきません。

なので、親でも先生でもない地域の人々が支えになることがとても重要だと思います。

子どもは色々な方面から支えるべきです。そこでやはり私が考えるには子どもの居場所そして子供食堂の必要性だと思いました。

少し話は飛ぶかもしれませんが、娘が住む沖縄ですが、この沖縄もとても貧困問題が深刻化しています。

沖縄と言うと、聞いてまず思い浮かぶのは青い海にのんびりとした人々癒しの島々、そんなイメージでは無いでしょうか？

ただ一方では、相対的貧困率子供の貧困率とともに全国 1 位子どもの貧困率に至っては大阪の倍 29.2%にもなります。3人に1人の子供が貧困家庭と言うことになります。

ただ、この沖縄にも児童館であったり、子どもの居場所はたくさんあります。

学生を各子どもの居場所に派遣する事のできる学生派遣センターなどもできています。

その点、八尾市には児童館など全くありません。私の妹は千葉に住んでいますが、千葉あたりでは各地域に子どもの児童館があり、放課後には遊んだり勉強することができます。

同じ日本に生まれて、子供たちがどこにいても同じ状況で過ごせることができれば良いと思うのですが、どうも地域によって、都道府県によって、

大きく違うのも現実の様です！

日本全体で子ども達を支えられる社会になればいいなと思います。

あと、その他の活動としましては、地域活動として、青藍塾という団体に所属しています。

地域の清掃や、お祭りのお手伝い運動会での自転車整備、夜回りなどをやらせていただいております。

まちづくり活動といたしましては、まちなみセンターを中心に、広報での活動をしております。新聞づくりやポスター作り、燈路まつりのお手伝いをさせていただいております。

八尾市の中で唯一きれいな状態で残っている寺内町を、今後も継承していける活動をできたらと思っております。

あと、国際交流センターに 20 年近くボランティアとして登録させていただき、日本語と一緒に勉強したり、ホストファミリーとしてお手伝いしてきました。日本にいながらにして外国の方々と出会えることの楽しさ今では私の生活の一部であり楽しみでもあります。

このすべての活動が一つ一つが、今は楽しくて自分にとっての大切な時間です。

アールブリュット展

2017. 9. 29.





第2660地区
八尾東ロータリークラブ
YAO EAST ROTARY CLUB